

第53期通期(2024年5月期)

決算説明資料

2024年7月16日

タケダ機械株式会社

証券コード：6150

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2024年5月期の決算概要 (連結損益計算書)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度又は対経営指標との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
売上高	5,464	4,689	+775	+16.5%
営業利益	636	383	+252	+65.8%
経常利益	659	416	+242	+58.3%
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	427	316	+110	+34.8%

	当年度 実績値	経営指標	対経営指標との差異	
売上高	5,464	5,000	+464	+9.3%
経常利益	659	480	+179	+37.4%

【対前年度との差異における主な要因】

〈売上高、各段階利益の増加〉

都市部を中心とする堅調なインフラ需要
前年度に実施の販売価格の見直し

〈各段階利益の減少〉

生産調整の実施→各段階利益で微減

〈当期純利益の減少〉

前年度における一時的な利益影響
特別利益：補助金収入(49→0)

【経営指標との差異における主な要因】

〈売上高、経常利益の増加〉

ライン機械(省人化・省段取り)の需要増
子会社の外販売上増(受託事業)
顧客の機械稼働率上昇→消耗品、修理(部
品・サービス)の増加

〈経常利益の減少〉

生産調整の実施による微減

2024年5月期の決算概要 (品目別売上高)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
			絶対値	増減率
形鋼加工機	3,739	3,239	+500	+15.5%
丸鋸切断機	274	125	+149	+119.1%
金 型	468	452	+16	+3.6%
受託事業他	273	243	+30	+12.5%
部 品	586	530	+56	+10.7%
サ ー ビ ス	121	98	+22	+22.8%
合 計	5,464	4,689	+775	+16.5%

【対前年度との差異における主な要因】

＜形鋼加工機＞

引き続き堅調な内需

- ・都市部の鋼構造物プロジェクト
- ・物流倉庫、データセンター等の建設

＜丸鋸切断機＞

- ・自動車関連業界は生産調整から回復基調も設備投資は低調に推移
- ・鋼材加工業界は生産活動が堅調に推移

＜金型、部品、サービス＞

顧客の機械稼働率上昇

- ・金型消耗品の需要増
- ・オプション、補給部品・修理の需要増

＜受託事業他＞

新規顧客の開拓

- ・タケダ精機(株)の売上高増加（対前年同期比 12.8%増）

2024年5月期の決算概要

(連結貸借対照表：資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
			絶対値	増減率	
流動資産	5,448	4,762	+686	+14.4%	↗
固定資産	2,463	2,528	△65	△2.6%	↘
(有形固定資産)	(1,883)	(2,004)	(△121)	(△6.0%)	↘
(無形固定資産)	(60)	(80)	(△19)	(△24.3%)	↘
(投資その他)	(519)	(444)	(+74)	(+16.9%)	↗
資産計	7,911	7,290	+620	+8.5%	↗

【流動資産】

(増加の主な要因)

- 現金及び預金 +991
- 棚卸資産 +223

(減少の主な要因)

- 売上債権 △483

【固定資産】

(増加の主な要因)

- 投資有価証券 +47

(減少の主な要因)

- リース資産 △86
(無形固定資産のリース資産を含む)

2024年5月期の決算概要

(連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
負債	2,912	2,698	+214	+7.9%	↗
(流動負債)	(2,088)	(1,815)	(+273)	(+15.1%)	↗
(固定負債)	(823)	(883)	(Δ59)	(Δ6.8%)	↘
純資産	4,999	4,592	+406	+8.9%	↗
(株主資本)	(4,961)	(4,589)	(+371)	(+8.1%)	↗
(包括利益)	(37)	(2)	(+35)	—	↗
負債・純資産計	7,911	7,290	+620	+8.5%	↗

【負債】

(増加の主な要因)

- 未払法人税等 +147
- 支払手形及び買掛金 +71
- 長期借入金 +39
(1年内返済予定の長期借入金を含む)

(減少の主な要因)

- 短期借入金 Δ100
- リース債務 Δ82
(流動負債のリース債務を含む)

【純資産】

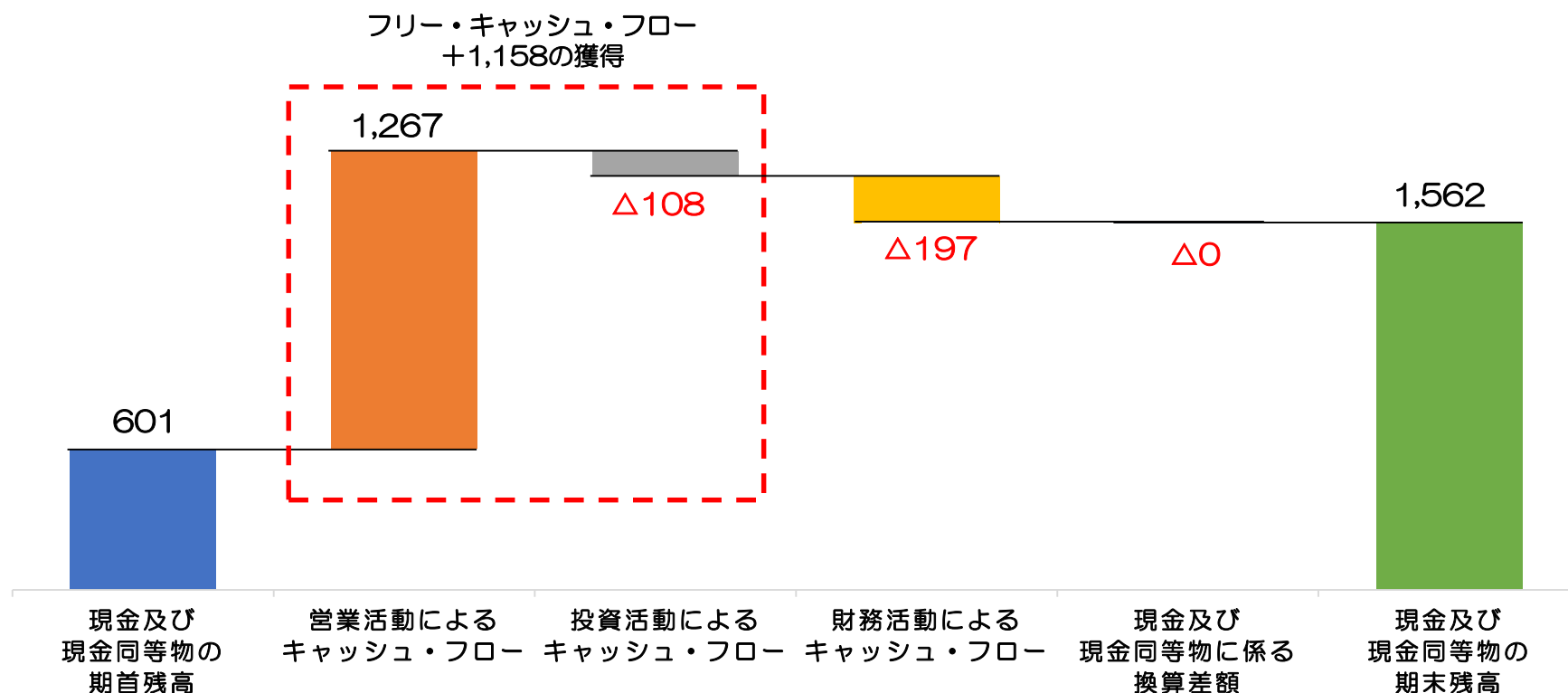
(増加の主な要因)

- 利益剰余金 +371
- その他有価証券評価差額金 +35

2024年5月期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)①

当年度における現金及び現金同等物の増減推移

(単位：百万円未満切捨て)



(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

2024年5月期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)②

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
期首残高	601	872		
営業活動によるCF	1,267	△82	+1,349	—
投資活動によるCF	△108	△71	△36	—
財務活動によるCF	△197	△116	△81	—
換算差額	△0	△0	△0	—
期末残高	1,562	601	+960	+159.8%

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・売上債権の増減額 +785
- ・税引前当期純利益 +199
- ・棚卸資産の増減額 +149
- ・法人税等の支払額 +123
- ・補助金収入 +49

(減少の主な要因)

- ・仕入債務の増減額 △75

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

(減少の主な要因)

- ・補助金の受取額 △49

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・長期借入金の支出入 +118

(減少の主な要因)

- ・短期借入金の支出入 △200

(注) 1. 表中に記載の「CF」とは、「キャッシュ・フロー」を略したものであります。
2. 右記のコメントに記載している内容は、対前年度との差異についての記載であり、決算短信に記載する内容と異なっております。

2024年5月期の決算概要 (直近の業績推移、翌期の業績予想)①

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移					※翌期予想
	2020年	2021年	2022年	2023年	当年度	
売上高	5,056	3,500	4,444	4,689	5,464	5,500
経常利益	542	178	409	416	659	600
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	350	118	260	316	427	390

※2024年7月16日付
公表の予想数値

【翌期の見通しについて】

(プラス要因)

底堅い継続的な内需

- 都市部の鋼構造物プロジェクト
- 国土強靱化基本計画によるインフラ需要
- 物流倉庫、データセンター等の建設

(マイナス要因)

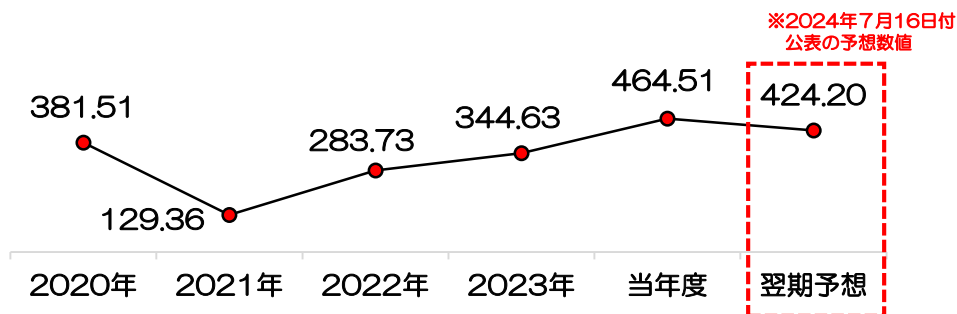
2024年問題(建設、運輸分野)

- 工期遅延、設備投資の停滞、コスト増
- 長期金利の上昇
 - 中小企業の負担増→設備投資の抑制
- 製造コストの負担、不安定な為替相場
 - 鋼材価格の高止まり、エネルギー価格の上昇、物価の上昇

2024年5月期の決算概要 (直近の業績推移、翌期の業績予想)②

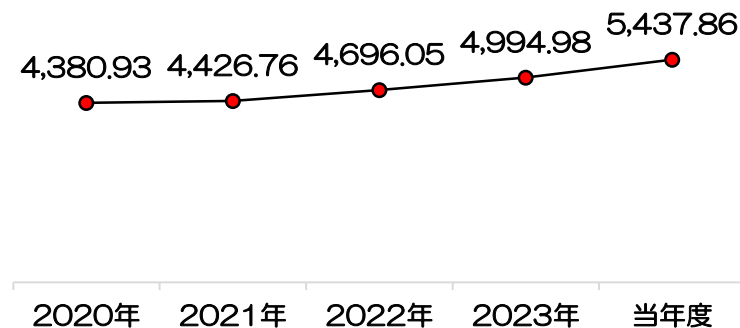
1株当たり当期純利益

(単位：円)



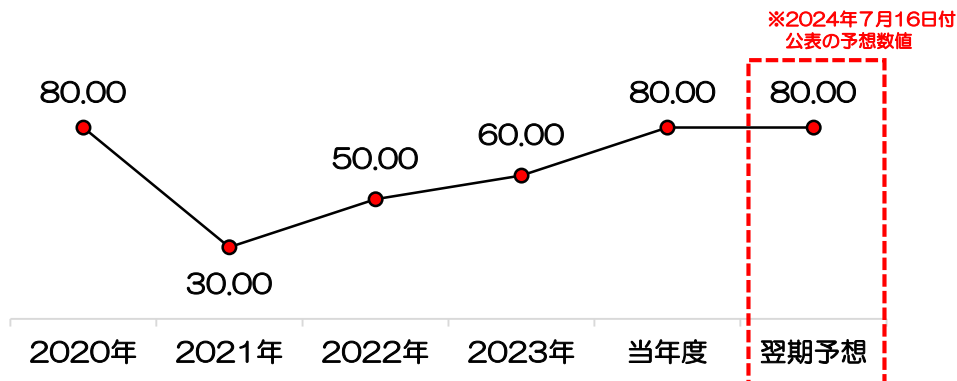
1株当たり純資産

(単位：円)



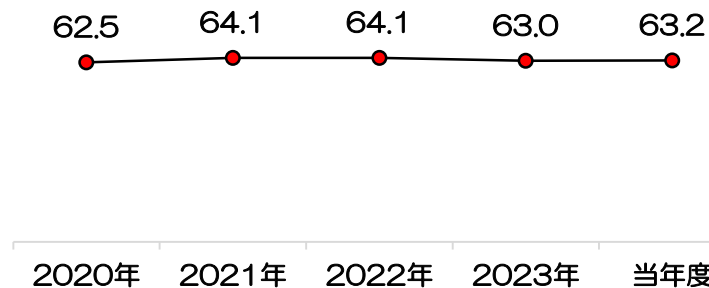
1株当たり配当金

(単位：円)



自己資本比率

(単位：%)



2024年5月期の決算概要

(直近の現金及び現金同等物の推移)

(単位：百万円未満切捨て)

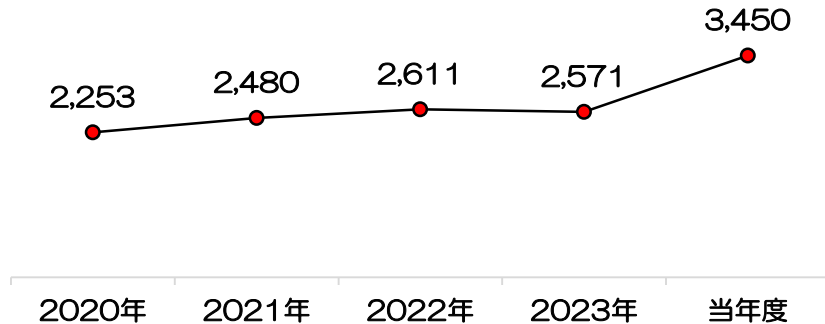
	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2020年	2021年	2022年	2023年	当年度
期首残高	438	465	266	872	601
営業活動による キャッシュ・フロー	386	△138	991	△82	1,267
投資活動による キャッシュ・フロー	△281	8	△63	△71	△108
財務活動による キャッシュ・フロー	△77	△67	△321	△116	△197
換算差額	△0	△0	△1	△0	△0
期末残高	465	266	872	601	1,562
フリー・キャッシュ・ フロー	105	△130	927	△154	1,158

(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

2024年5月期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

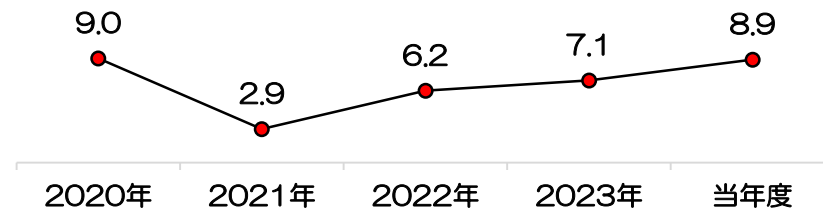
期末日の株価

(単位：円)



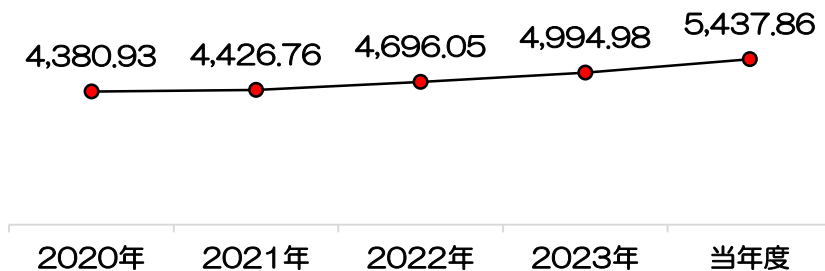
自己資本当期純利益率

(単位：%)



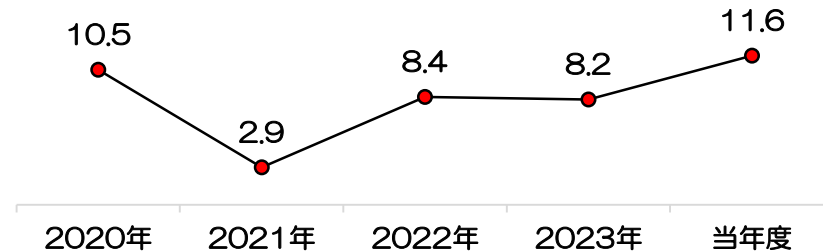
※(参考) 1株当たり純資産

(単位：円)



売上高営業利益率

(単位：%)



2025年5月期の経営課題への取組み

当社を取り巻く環境
引き続き底堅い内需 ・インフラの老朽化 ・都市部の建設需要
少子高齢化社会 ・生産人口の減少 (設備の省人化等の需要) ・内需の縮小
企業価値の向上 ・厳しい上場維持基準 ・求められるCG ・ESG、雇用への対応



翌期の取組み	中長期の取組み
新製品開発の強化 ・年間2機種の開発 ・客先仕様機への対応	新製品開発力の向上 (継続) ・マーケティングの強化
ブランディング活動の継続 ・新製品(機能アップ)+外観デザインの刷新→ブランド認知度の向上	
付加価値の向上 ・ICT技術による業務の改善 ・品質の強化 →ムダ取りの徹底(継続)	幅広い生産性の向上を 目指す。 ICT技術を備えた製品とサービスの充実
在庫コストの削減 ・お客様への納期を確保 ・キャッシュ・フローの改善 ・倉庫代、在庫管理費の削減	需要予測精度の向上 在庫高の削減(仕様機除く)
人材育成の強化	(継続)
企業価値の向上 ・多様化する社会への対応 (雇用・環境等)	(継続)

ご参考：2025年5月期の中期計画 (直近2年間の実績と3カ年中期計画について)

(単位：百万円未満切捨て)

	直近2年間の実績		※2025年5月期の中期計画		
	2023年 (実績値)	当年度 (実績値)	2025年 (翌期予想)	2026年 (ご参考)	2027年 (〃)
売上高	4,689	5,464	5,500	5,700	5,800
経常利益	416	659	600	650	700
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	316	427	390	420	450

※ 2025年5月期の中期計画について

- 前頁に記載する取組みの結果を想定したものであります。
- 2025年は翌期予想(経営指標)、2026～2027年はご参考となります。

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

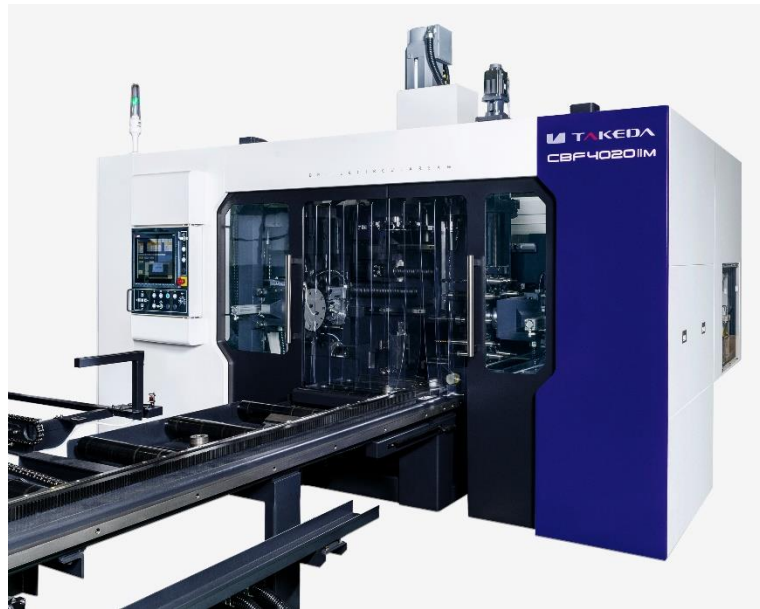
方針	目標、具体策等
株主優待制度の継続 実質利回りの向上	<p>配当利回り(株価の意識)を加えた配当方針へ →実質利回りの向上を目指す</p> <p>※ 実質利回り＝配当利回り＋優待利回り (100株保有する株主様を基準)</p>
自己株式の取得	中長期にかけて実施(利益還元)
認知度の向上	<p>潜在株主調査の実施 将来の株主様と対話、ご要望等の分析 →当社を知る機会の提供</p>
株式流動性の向上	<p>取引先持株会(株主順位3位)への説明 →安定株主の売買による流動性の向上</p>

※ 2024年7月16日付の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」にて公表しております。

第54回機械工業デザイン賞の受賞に向けて挑戦

※日刊工業新聞社が主催し、各団体の支援を受けて1970年から続き、日本の製造業に貢献する、伝統と格式の高い賞であります。

形鋼加工機 自動測長付 孔あけ切断複合機「CBF-4020II-M」



【製品の特長】

- **ミーリング加工対応**、工作機械用CNC装置を搭載
- 自動工具交換装置(ATC)を装備、工具10種類を収納
- 3軸同時加工による最短の孔あけ
- **IoTリモートサービス機能**で、機械の状態を確認
- オプションの自動搬入装置、自動搬出装置で更なる効率化

HUMAN HEART

お客さまそれぞれの、課題に corres える加工システムをご提案します。